**第８５回観察会　2010年4月12日(月) 12:05～12:50　少雨**

**テーマ『植物行動学』**

**☆ガイドレポート**

「動物の行動学があるのはわかるけど、植物の行動学って何だろう？」と不思議に思われた人も多いでしょう。でも私は、植物だって立派に「行動」していると思うのです。植物も生きるために、状況に応じて、葉を出したり茎を延ばしたり、匂いや化学物質を分泌したりと、動物と同じように、いろいろ苦労しているからです。

特に、昆虫やダニなどの視点とスケールで観察すると、植物の表面には、毒や様々な化学物質の詰まった毛（腺毛）や袋（腺点）、アリを集めるための蜜腺（花外蜜腺）や粒状餌物質（フードボディー）、ダニ用の隠れ場所（ダニ部屋、ドマティア）など、様々な仕掛けが隠されています。植物は状況に応じて、このような微小な構造も発達させ、捕食の回避やアリやダニとの共生に役立てているのです。今回は、このような構造に注目して観察を行いました。

あいにくの雨でしたが、たくさんの熱心な参加者が集まり、以下のような植物を観察することができました。

サクラ、
カラスノエンドウ（花外蜜腺）、
クスノキ、
サンゴジュ（ダニ部屋）、
ニワトコ（花外蜜腺、腺毛）、
ドクダミ（腺点）、
ツタ（フードボディー）、
ツツジ（腺毛）。

これをきっかけに、植物を「植物行動学」の視点から観察する楽しさを理解していただければ幸いです。

案内人：幸島司郎さん（京都大学野生動物研究センター）

**☆参加者の感想**

* 身近な植物に色んな仕組があって興味深く、とてもおもしろかったです。
（初めての参加、３０～６０才、女性、京都市外のかた）
* 雨で少し観察しにくかったが、変わった視点で植物を見ることができてよかった。
（参加～５回、３０～６０才、京大市内のかた）
* これまで見もしなかった植物の微細な部分に気付かせて頂き、植物への関心も深まりました。雨の中ありがとうございました。
（参加～１０回、京都市内のかた）
* 面白く聞かせて頂きました。田舎で帰省した時に庭の手入れをするので、新しい見方が出来そうです。
（初めての参加、６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* 普通の何でもない植物がまるで食虫植物のようなものを分泌する。蜜の味も放出する。とても興味深い話でした。
（参加～１０回、６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* 今日は２回目の参加です。木々の葉の裏側に色々な事がわかり参考になりました。
(参加２回目、女性、京大近辺のかた)
* 今日は雨ですがみなさんにお会いできて気持は晴れやか！植物は雨にぬれてきれいでした。感動。
（３０～６０才、京都市内のかた）
* 久しぶりに参加させていただき、今まで葉の裏まで見た事がなかったので、いろいろな機能を知り、これからためしてみようと思います。
（参加～５回、６０才以上、京都市内のかた）
* 雨の中、ガイドの先生の詳細説明有難うございました。今迄植物の芽など何も考えずにながめておりましたが、本日の説明で色んな事を知りました。今後、もっと詳しく観察をしたいと思います。
（参加１０回以上、６０才以上、男性、京大市外のかた）
* 知らないことだらけでおもしろかったです。植物もいっしょうけんめいなんですね。
（初めての参加、６０才以上、女性、京都市外のかた）
* 植物行動という考え方はわたしとしては以前より持っていました。今後は植物全体でこれが把握できればと思っています。
（初めての参加、３０～６０才、男性、京大近辺のかた）
* 意外な新しさにびっくりしました。くすのきに草食ダニのへやがある理由、調節機能、考えさせられました。ピュアすぎる忌避物質の採集はキケンかもしれませんね（笑）。
（参加～５回、３０～６０才、男性、京大環境学堂教員のかた）